東京労働局

第8期第3回　東京地方労働審議会資料

平成28年7月25日（月）　午前10時30分～

於：東京労働局 11階 共用会議室1-3

目 次

(1)　ハローワーク総合評価とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・(1～ 4頁)
・ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）・・・・・ 1頁
・ハローワーク総合評価の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2頁
・ハローワーク総合評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3頁
・ハローワーク総合評価の評語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4頁

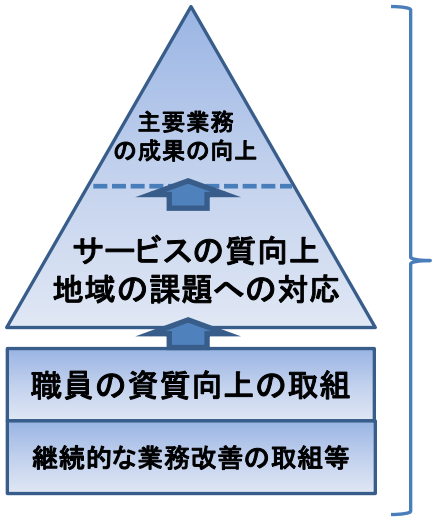
(2)　東京労働局のハローワーク総合評価結果のご報告・・・(5～39頁)
・平成27年度　ハローワーク総合評価（評価結果一覧）・・・・・・・・・・・・・・・ 5頁
・ハローワーク飯田橋就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6頁
・ハローワーク品川就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8頁
・ハローワーク渋谷就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10頁
・ハローワーク新宿就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12頁
・ハローワーク池袋就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14頁
・ハローワーク立川就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16頁
・ハローワーク上野就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18頁
・ハローワーク大森就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20頁
・ハローワーク足立就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22頁
・ハローワーク墨田就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24頁
・ハローワーク木場就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26頁
・ハローワーク八王子就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28頁
・ハローワーク三鷹就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30頁
・ハローワーク府中就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32頁
・ハローワーク王子就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34頁
・ハローワーク町田就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36頁
・ハローワーク青梅就職支援業務報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38頁

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の**拡充**、マッチング機能に関する業務の**総合評価**、評価結果等に基づく**全国的な業務改善**を、**平成27年度から一体的に実施**。

PDCAサイクルによる目標管理・業務改善の拡充

- 従来の取組（就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、業務の質の指標を**追加**。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を**追加**。
- 中長期的な就職支援の強化のため、**職員の資質向上**や**継続的な業務改善の取組を推進**。



ハローワークのマッチング機能の総合評価・利用者への公表

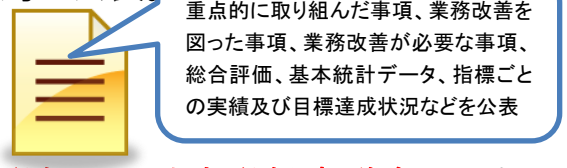
- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表

  →主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度央に、総合評価を年度終了後に公表

- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。

  →労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを**グループに分け**、その中で**比較し評価**

- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。



- **労働局は地方労働審議会**、本省は労働政策審議会に**報告**。

評価結果等に基づく全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や**好事例の全国展開等を実施**。

①評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導

②改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）

③好事例は全国展開（評価期間終了後）
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

ハローワーク総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

全ハローワークで共通する評価（全所必須指標）

（1）主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- ○ 就職件数
- ○ 求人充足件数
- ○ 雇用保険受給者の早期再就職件数

（2）補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- ○ 満足度調査
- ○ 紹介成功率

ハローワークごとの重点的な取組の評価（所重点指標・所重点項目）

（1）所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- ○ 障害者の就職件数
- ○ 正社員求人数
- ○ 生活保護受給者等の就職件数　など

（2）所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況を評価

- ○ 職員による事業所訪問の実施
- ○ 求職者担当制の実施
- ○ 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
- ○ 好事例を導入した業務改善を実施　など

ハローワーク総合評価の方法

総合評価は年度単位で実施する。年度終了後に、ハローワークごとに、**年度合計の指標・項目の実績をポイント化し**、それを合算して、**評価**する。

①年度当初に定めた目標への達成状況を基に、指標ごとに、予め定められたポイント数の範囲内で、ポイントを付与する。

A指標の目標達成率 × A指標のポイント数 → ○○ハローワークのA指標のポイント

※目標達成状況によるポイントは、所重点項目を除く各指標（主要指標・補助指標・所重点指標）について計算。

②業務実績が例年より上回った場合に、ポイントを付与する。

※主要指標について、過去3年間の実績と比較し、過去3年間の平均を上回る場合にポイントを付与。

③所重点項目の実施状況を基に、ポイントを付与する。

※中長期的な観点から必要となる職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組を実施した場合にポイントを付与。

①～③のポイントを合計し、ハローワークごとに、総ポイント数を計算する。

類似するハローワークからなるグループ内で、**総ポイント数等を比較し、評価**する。

※労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを**11グループに分類**。

※評価は本省で実施し、評価結果を労働政策審議会に報告。

※評価結果は、ハローワークにおいても、実績値、業務改善事項、総合評価結果（4段階）等をまとめて公表。

ハローワーク総合評価の評語

評語決定方法

□各グループごとに平均値を基準とし、平均値以上を類型1･2、平均値未満を類型3･4に区分
□目標達成率100%を「満点」とみなし、「満点」以上を類型1
（「満点」について、目標達成率が100%以上の場合は「満点」を超える場合があり得る。）
□グループ1は平均値の90%未満、グループ2～5は平均値85%未満を類型4
（それ以外のグループは平均値の80%未満。）

類型	総合評価の評語
1	非常に良好な成果
2	良好な成果
3	標準的な成果
4	成果向上のため計画的な取組が必要

（参考）

評価グループ	満点	平均値
1G	1215	1109
2G		1077
3G		1078
4G	1200	1061
5G		1045
6G		1067
7G		1047
8G		1049
9G		1061
10G		1043
11G		1041

平成27年度　ハローワーク総合評価（評価結果一覧）

グループ1

所名	評価
飯田橋	非常に良好な成果
品川	標準的な成果
渋谷	良好な成果
新宿	標準的な成果
池袋	標準的な成果
立川	良好な成果

グループ2

所名	評価
上野	標準的な成果
大森	標準的な成果
足立	良好な成果
墨田	良好な成果
木場	良好な成果
八王子	良好な成果
三鷹	良好な成果
府中	良好な成果

グループ4

所名	評価
王子	標準的な成果
町田	良好な成果

グループ5

所名	評価
青梅	良好な成果

ハローワーク飯田橋　就職支援業務報告（平成 27 年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

・求職者担当制による重点的な支援によりきめ細かな職業相談を実施することで、支援対象の目標 1,200 名に対して 1,355 名を選定し、就職件数の目標 480 件に対して、885 名を就職させた。

・求人担当制による重点的な支援を行うことにより詳細な求人ニーズを把握することで、画像情報、求人票以上の補足情報を着実に取得した。また、充足対策として能動的マッチングを行う観点から事業所部門が主体となり、対象求人に適合した求職者を選定した上で、求職者へ情報提供するなど充足を意識した支援を行った。さらに就職面接会、ミニ面接会を実施するなど充足対策を行った。結果として対象求人数の目標 11,420 人に対して 18,230 人を選定し、充足件数の目標 4,600 件に対して、6,315 人を充足させた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

・60 歳以上の高齢者求人、概ね通勤時間 30 分程度を目途とした「通勤らくらく求人」等をまとめた冊子を作成し、求職者の求人選択の一助とした。

・求人受理件数が増加し、求人受理窓口での待ち時間と求人入力までに要する時間が長くなっていたことから、求人受理窓口を事業所第一部門・第二部門による大部門制とした。具体的には、求人受理窓口を「新規求人申込み」、「求人内容変更・有効期間満了求人の更新」、「求人に関する相談」等に細分化し、来所ニーズに応じた対応を行う体制を整備することで、来所者の待ち時間及び求人入力に要していた時間を大幅に短縮した。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

・新規求職者が減少傾向にある中、より一層、雇用保険受給者に対する積極的な職業相談・職業紹介に取り組むこととする。

・東京人材銀行廃止に伴い、管理的職業、専門的・技術的職業に従事した者の再就職を促進するため、管理職、技術職及び専門職といった企業における中核人材を募集する求人に対して、リクエスト紹介及び求職公開を用いたマッチング支援を実施し、求人・求職サービスをより一体的に運営する。

2　総合評価（※）

非常に良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

・東京都と連携した若年者を支援対象とした施設であるU-35 と新卒応援サテライトである学卒担当部門において、既卒３年以内を含む大学生・専門学校生・高校生等に対して重点的な支援を行った。具体的には、個別担当制によるきめ細かい職業相談・提案紹介、職業講話・セミナーなどを実施することで、当所目標である学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数の目標 420 人に対して、936 人を就職させることができた。

・当所は求人型ハローワークであり、求職者が少ないことから、開拓求人については自所だけでなく、他所と連携した充足対策を実施した。具体的には、求人担当者が求人に適合した求職者を都内全域から選定したうえ、登録安定所を通じて求職者へ求人情報を積極的に提供した。さらに、事業所画像情報を収集し求人情報提供端末での閲覧だけでなく所内で求人票とともに展示し、２週間程度経過後も紹介がなされない求人に対しては求人条件緩和の提案など求人担当制によるフォローアップ等を実施した。結果として開拓求人充足数の目標 3,400 人に対して、5,034 人を充足させることができた。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により、正規雇用に結びついたフリーター等の件数	正社員求人数	正社員就職件数	60 歳以上の高齢者の就職件数	障害者のチーム支援による就職件数	正社員求人充足数	開拓求人の充足数
実績	6,406	29,851	1,282	94.4%	95.0%	9.3%	419	936	1,753	95,462	3,119	1,992	192	14,424	5,034
目標	6,000	30,000	1,260	90.0%	90.0%	7.1%	416	420	1,536	95,220	2,753	1,885	176	14,450	3,400
目標達成率	107%	100%	102%			131%	101%	223%	114%	100%	113%	106%	109%	100%	148%
（参考）過去3年度平均	6,313	31,755	1,257												

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク品川　就職支援業務報告（平成 27 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所は、典型的な求人型ハローワークとして、都内はもとより全国のハローワークへの求人供給とともに、雇用環境が改善する中、求人者に対する充足支援サービスの充実を最大の使命と認識して業務を展開してきた。

平成 27 年度の新規求人数（常用）は、前年度から 8.3%増加したものの、充足については、当所の受理求人の約４分の３は就業場所が当所管外のものであることから、他ハローワークとの広域連携等による充足対策に努めたところであるが、求人申込件数の増加により、求人受理時のコンサルティング等に十分な時間を割くことができず、想定していた成果を挙げることができなかった。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

上記①の広域連携の具体的取組として、近郊の求職型ハローワーク（大森所、足立所、墨田所、木場所）を巻き込み、顔の見える関係構築による地域マッチング強化事業（通称「したまっち」事業）を開始した。交流会議の開催や担当者同士の日常的な情報交換等をベースに、スピード感のあるマッチング対応が可能となった。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

平成 28 年７月に田町駅至近の新庁舎に移転する予定であり、これまで以上に利便性が向上し、広域からの利用者の誘引が見込まれることから、当所の豊富な求人とのマッチングの促進が期待できる。

また、広いエントランス、独立した会議室、大部屋型レイアウトといった新庁舎の環境を最大限活用し、情報展示の充実、面接会・セミナーの積極的開催、職員間のコミュニケーション強化等により業務実績の向上を図ることとする。

（４）その他業務運営についての分析等

平成 27 年度の正社員求人数は 102,493 件で目標を達成するとともに、前年度比 8.9%増となった。既に量的には一定の水準にあるため、今後は、求職者が魅力を感じる求人、働きやすそうな求人条件等、質的な水準を高めていく必要があると認識している。このため、28 年度においては、「正社員開拓求人に対する充足数」を新たな目標に設定し、充足を意識しつつ良質求人の確保に取り組むこととする。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	ハローワークの職業紹介により、正規雇用に結びついたフリーター等の件数	正社員求人数	正社員就職件数	就職件数（全数）	充足件数（全数）
実績	3,905	18,170	2,036	97.5%	96.3%	9.4%	267	231	1,042	102,493	1,921	4,367	21,058
目標	4,400	19,600	1,930	90.0%	90.0%	8.6%	264	231	1,349	96,473	2,126	5,050	22,400
目標達成率	89%	93%	105%			109%	101%	100%	77%	106%	90%	86%	94%
（参考）過去3年度平均	4,810	19,603	2,048										

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク渋谷　就職支援業務報告（平成 27 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所の管轄には待機児童日本一の世田谷区があること、また、管内産業の主体となっている「各種サービス業」のうち介護事業者が多くを占めていることから、人手不足分野の保育・介護に重点を置いた支援を実施することとした。特に、ツアー型面接会や就職面接会の開催にあたっては、マッチング率を高めることが重要であると考え、各事業の積極的な取組を推進した。

ツアー型面接会は、求職者のニーズに対応した事業所を選定するなど、マッチングを意識した取り組みを実施し、保育６回、介護 18 回の 24 回開催、参加者 95 人、就職件数 34 人（就職率 35.8%、対前年度比 4.3Ｐ増）を採用に結びつけることができた。

また、就職相談会、面接会については、基礎自治体と連携して開催するなどの取組を実施し、開催回数（平成 27 年度：11 回、前年度８回）及び参加事業所数（平成 27 年度：64 社、前年度：44 社）を増やして、企業のＰＲ機会と多くの企業担当者と直接相談できる機会を設けることにより、利用者から「求人票だけでは分からない施設の設備、雇用管理面など、理解したうえで面接できることが良かった」などの評価を得た。（平成 27 年度：参加者 221 人、就職件数 39 人、就職率 17.6%、前年度：参加者数 190 人、就職件数 34 人、就職率 17.9%）

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者から「奥まった場所にあり、パーティションで区切られていて分かりづらい」との意見が多くあったハートフルワークコーナーについて、エントランスから見やすい場所にレイアウトを変更するとともにセミナールームを設置し、ミニ面接会や入門セミナー等を開催しやすいよう改善した。利用者からは、「エントランスから見え、明るい場所で利用しやすくなった」との評価を得た。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

就職数及び求人充足数を増加させるため、求人受理時の専門的なコーディネート強化を図る。具体的には、各種求人条件の緩和はもちろんであるが、仕事の内容欄や備考欄の表現方法の提案をする。また、求人票以上の情報として収集した、求める人材像、求人申込の理由、定着率等の情報を活用し、提案紹介の促進を図ることで就職件数及び充足件数を増加させることとする。

2　総合評価（※）

良好な成果

3　特記事項

新規求職者が減少傾向にある中、求職者の確保の強化を図ること、紹介件数の減少を抑制することが課題となっている。このため、求職者が希望する求人（職種等）の開拓を推進し、マッチングに重点を置いた職業紹介に努め紹介成功率を高めていくこととする。

職員による事業所訪問を積極的に実施し、求職者が必要としている事業所情報（画像情報）、求めている人材像や雇用管理面など詳細な情報の収集を行い、職業相談部門との情報共有に努めた。職業相談部門においては、該当する求職者へ求人情報の提供を積極的に実施するとともに、事業所情報を積極的に活用した職業紹介を実施した。

また、書類選考が増加していることから、採用意欲のある開拓求人を中心にミニ面接会を積極的に開催することにより、面接する機会を増やし、紹介成功率及び充足率を高めるよう努めた。具体的には、年間 117 回実施し、求人数 517 件、紹介件数 1,137 件、就職件数 161 件、紹介成功率 13.7%、充足率 31.1%となった。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	障害者の就職件数	ハローワークの職業紹介により、正規雇用に結びついたフリーター等の件数	マザーズハローワーク事業における担当制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	建設分野の就職件数	ホームレス自立支援事業における求職者の常用就職率	ツアー型面接会（保育・介護）における就職件数	マザーズ求人の充足数
実績	10,112	17,061	5,096	92.0%	95.3%	9.9%	469	3,405	90.1%	98,145	5,371	226	91.3%	34	299
目標	10,500	17,960	4,600	90.0%	90.0%	7.5%	430	3,259	87.5%	94,012	5,707	245	78.1%	18	320
目標達成率	96%	95%	111%			132%	109%	104%	103%	104%	94%	92%	117%	189%	93%
（参考）過去3年度平均	10,212	19,051	4,719												

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク新宿　就職支援業務報告（平成 27 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「就職件数」及び「充足件数」の目標達成のための取組を最重要と捉え、正社員化、マッチングの強化に重点を置き、正社員求人を確保するとともに、提案型職業紹介や求職者の態様に合わせた各施設におけるミニ面接会等を開催するほか、東京労働局マッチング強化事業を活用した取組を行った。

また、人手不足分野については基礎自治体との連携により、福祉・保育分野のツアー型面接会を 19 回実施するなど積極的に取り組んだ。

特に、保育面接会については、日曜日に開催することにより子育て中の潜在保育士等が多数参加できるよう工夫をするなど、自治体の課題である「待機児童対策」と連携した保育人材確保に取り組み、平成 28 年度も事業継続・拡充をすることとしている。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

求人受理時の内容の適法性・正確性の確認を徹底するとともに、事業所画像情報の収集や事業所ＰＲシート作成提案、応募の可能性を高める魅力ある求人票とするためのコンサルティングを行うなど、充足に向けた取組の充実を図った。

また、新宿所おすすめ求人（充足会議にて取り上げられた良質の正社員求人等）を活用し、若年者、雇用保険受給者中心に提案型職業紹介を強化した。さらに、若者応援宣言企業を対象としたミニ面接会や東京外国人雇用サービスセンターでは計画的かつ応募者が多数見込める求人によるミニ面接会を開催するほか、東京新卒応援ハローワークでは学校への積極的アプローチによる既卒者支援を図る等、各施設の特徴を活かした取組を行った。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

新卒者・若年者から定年後の再就職まで、求職者の態様に応じた施設を持つオールマイティ・ハローワークとして情報発信を強化し利用者の確保に努め、求人者サービスの充実・強化、個別担当者制による就職支援など質の高い求職者サービスの提供、各施設の態様に合わせたセミナーや面接会等の支援メニューの拡充により利用者満足度の向上を図る。

（4）その他業務運営についての分析等

新規求職者が減少する中、就職件数等が目標達成に至らなかった。今後も求職者の減少傾向は継続するものと考えられることから、雇用保険受給者を中心とした就職支援を強化する他、セミナーや面接会等各種イベントを効果的に周知し、利用者の確保を図る。

また、正社員就職の向上を推進するため、求職者ニーズを意識した正社員求人の確保に力点を置きつつ、ミニ面接会の開催などマッチング機会の拡大を図る。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により正規雇用に結びついたフリーター等の件数	正社員求人数	正社員就職件数	介護・看護・保育分野の就職件数	建設分野の就職件数	外国人就職件数	東京労働局マッチング強化事業（対象求職者の就職件数）
実績	14,975	19,587	4,746	96.2%	93.9%	9.4%	609	11,259	4,723	93,202	9,507	867	496	2,412	1,359
目標	15,700	19,140	4,450	90.0%	90.0%	9.0%	601	10,180	4,645	83,541	9,866	1,100	523	2,330	720
目標達成率	95%	102%	107%			104%	101%	111%	102%	112%	96%	79%	95%	104%	189%
（参考）過去3年度平均	16,113	20,355	4,531												

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク池袋　就職支援業務報告（平成 27 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所は、新規求職者の 30%以上を雇用保険受給者が占めていることから、雇用保険受給者の就職支援が最重要課題と考え、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標 5,100 件の達成を目指し、所内職員で構成する再就職委員会等で従来から実施していた取組の見直しを行い、職業相談部門と事業所部門が一体となり、雇用保険受給者の早期就職支援に取り組んだ結果、目標及び過去三年度平均を上回る成果を挙げることができた。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、ポスターの掲示、リーフレットの陳列が分かりにくい等の意見が多く寄せられたことから、それまで掲出物に係る事業等の担当部門が行っていたポスターの掲示やリーフレットの陳列について、管理担当部門を指定し、一元的に管理することで、リーフレットの陳列等を統一感のある配置にするなどの改善を図った。利用者からも一定の評価を得られている。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

子育て中の者の支援の一つである自治体との連携による託児付き就職支援セミナーについては、平成 27 年度は２回のみの実施にとどまったが、平成 28 年度については、管轄する３区（豊島区、板橋区、練馬区）とそれぞれ開催し、対象者の確保・開拓と就労支援の充実を図ることとする。

（４）その他業務運営についての分析等

新規求職者、特に若年者の減少が大きかったこともあり、就職件数は目標達成率 97%であった。今後も求職者の減少傾向は継続するものと考えられることから、35 歳未満の雇用保険受給者について、伴走型の就職支援を実施するとともに、自治体の関連施設や学校等にハローワーク利用の広報等を依頼することで新規求職者の確保に努める。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

職業相談部門、事業所部門の正規職員の事業所訪問や求職者担当制の取組が、職員一人一人のマッチング意識を向上させ、成果を挙げることができたものと思料しており、平成 28 年度においても引き続き取り組む予定である。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	60 歳以上の高齢者の就職件数	ハートフルワークコーナー利用者の福祉職への就職件数	開拓求人の充足数
実績	13,562	14,325	5,607	98.1%	96.7%	10.5%	1,007	585	1,572	87.7%	63,964	2,460	1,769	2,465
目標	14,000	14,270	5,100	90.0%	90.0%	8.4%	787	580	1,340	87.6%	57,037	2,430	1,810	2,280
目標達成率	97%	100%	110%	109%	107%	125%	128%	101%	117%	100%	112%	101%	98%	108%
(参考)過去3年度平均	14,436	14,517	5,207			8.4%								

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク立川　就職支援業務報告（平成 27 年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、すべての取組みの成果である就職件数の目標達成を最重要と考え、充足を意識した求人受理を行う一方、東京労働局マッチング強化事業対象求人や職業相談部門職員の選定した求人を積極的に活用し、提案型及び来所勧奨型等の能動的な職業紹介を強化した。また、平成 27 年４月には「マザーズハローワーク立川」（多摩地区初）、平成 28 年３月にはふるさとハローワーク「東村山就職相談室」（当所４か所目）を開設し利用者の拡大を図り、本所・JOB ぷらっと・マザーズハローワーク・４就職情報室すべての施設において提案型窓口紹介を推進するほか、管内９市と連携した「就職面接会」の実施、年間を通じて「ミニ面接会」を計画的に実施した結果、就職件数は 9,685 件と目標 9,400 件を上回る結果となった。また、雇用保険受給者については、「職業講習会」の分離開催を行い、早期再就職割合 39.9%と目標を 1.7P 上回った。

また、従来から実施している「なるほどセミナー」（応募書類・面接対策）、「55 歳からの就活サポートセミナー」、「ミドルセミナー」、「職種別セミナー」を年間 45 回開催し、参加者の個別支援対象者への誘導を強化し早期就職を実現させた。特に、若年者の窓口誘引策、リピーター確保策として新規セミナーを企画し、「ビジネスマナーセミナー」「着こなしセミナー」「就活ポイントセミナー」を実施した。

なお、福祉人材確保重点対策事業（ハートフルワークコーナー）については、「ツアー面接会」24 回、「ミニ面接会」２回を開催（合計：採用 86 名）し、新規求職者が減少する中、年間就職件数は 729 件（前年比 18.5%増）となり、全所の就職件数増加の要因となっている。

また、自治体との共催による就職面接会については継続的に実施するとともに、市の要望により、出張相談（一般紹介、マザーズ等）を実施する。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査において、ハローワークの案内、サービスメニュー等についての満足度が低かったことから、「広報検討プロジェクトチーム」を立ち上げ、「就職ガイドブック」の全面的な見直しを行いサービスメニューの説明に活用した。また、広報活動の取組として自治体の記者クラブを活用し、「マザーズハローワーク」「東村山就職情報室」をはじめ自治体連携事業のＰＲを行った結果、新聞掲載等マスコミに取り上げられ、広報活動強化の成果が挙がった。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求職者が減少しているため、求職者の確保・開拓策として、各自治体の市報への掲載や配架を依頼しているところであるが、新たに、若年者の確保策として、ＳＮＳ（LINE）の運用を平成 28 年６月 13 日より開始した。

また、当所の平成 27 年度の就職件数（保育関係・常用）は、319 件と前年度比で 22.7%増加しているが、新規求職者は、引き続き減少傾向で推移しており、潜在保育士の確保・開拓に積極的に取り組む必要があるため、平成 28 年７月から 12 月まで、毎月第一土曜日限定で「保育士ミニ面接会」を開催する予定としている。

（４）その他業務運営についての分析等

当所管内を就業場所とする求人の労働条件は、都心を就業場所とする求人に比較すると「賃金」「休日」「始業時間」など好条件とは言い難く、充足対策には苦慮している。

管内９市のうち利便性の低い地域の求人の確保と、地元の求職者とのマッチングを強化するため、「ふるさとハローワーク」の有効活用やターゲットを絞った求人開拓を実施する。

２　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により、正規雇用に結び付いたフリーター等の件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	就職件数（全数）	高年齢者就労総合支援事業に係る支援対象者の就職率	東京労働局マッチング強化事業（対象求職者の就職件数）
実績	9,685	7,397	3,502	91.7%	95.5%	12.1%	448	1,092	2,794	87.8%	20,937	4,944	10,779	73.5%	720
目標	9,400	7,510	3,270	90.0%	90.0%	10.2%	408	880	2,547	87.5%	20,338	4,665	10,600	66.3%	300
目標達成率	103%	98%	107%			109%	110%	124%	110%	100%	103%	106%	102%	111%	240%
（参考）過去3年度平均	9,826	7,887	3,338												

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク上野　就職支援業務報告（平成 27 年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、求人者サービスの充実が求職者サービスに繋がると捉えて、求人者の採用ニーズを的確に把握し、求人票の各欄への反映、求職者ニーズに見合う求人条件の緩和指導や書類選考を面接選考へ変更することの提案等による東京労働局マッチング強化事業や充足会議の充実・強化を図ること等、求人充足サービスを積極的に取り組んできた。特に、台東区役所、東京商工会議所台東支部との連携による就職面接会を年間４回開催し、参加者延べ 203 人、就職件数 17 人の成果を上げた。28 年度は、台東区の産業活性化に寄与するため、宿泊、飲食、サービスに特化した就職面接会として拡充を図ることとする。

また、平成 27 年度から新たに「ハローワークで事業所ＰＲ」として庁舎１階のショーウィンドウで約２週間、事業所ＰＲをポスターＢ２サイズ、求人票をＡ３サイズで拡大展示する取組を開始し、この取組によって、求職者からは「求人票だけでは分からない会社の雰囲気や実態が良くわかった」という意見を、事業主からは「24 時間事業所をＰＲすることができ、応募者が増えた」という意見をいただくなど、高い評価を得た。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートで、「良い対応をする人がいるものの、接客態度に差がある」など接遇に対する意見があったことから、即座に窓口対応の接遇や相談技法向上のための研修を実施し、「常にお客様目線で！」をモットーに接遇改善を行った。また、「庁舎の床カーペットの張り替えだけで事務室内の雰囲気が明るくなる」との意見に対しては、室内環境美化に積極的に努め、カーペット張り替えについては上部機関に要望を行うなどした。今後もサービス改善（環境改善も含め）を積極的に取り組むこととする。

更に、様々な事業においてアンケート調査を実施し、アンケート結果を踏まえた業務改善を積極的に実施した。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

平成 27 年度から開始した「ハローワークで事業所ＰＲ」は、求職者及び事業主から高評価を得られたことから、平成 28 年度も管内事業所に積極的にＰＲすることにより、管内事業所に対してより多くの求職者を紹介するなど更なるマッチングに努めることとする。また、平成 28 年度からは、台東区各施設へ「ハローワーク利用ガイド」を設置し、当所の PR である「お待たせしない相談窓口」を実践することで、より多くの区民のハローワークの利用促進に努めることとする。さらに、参加求職者及び事業所からも好評であった「ツアー型面接会」の開催回数を増加して取り組むこととする。

（4）その他業務運営についての分析等

平成 27 年 7 月に「ヤングコーナー」の拡充を図ったことで、正社員就職件数など目標の 9 割以上は達成した。平成 28 年度については、更に若年層の取り込みを積極的実施し、若年者支援に取り組むこととしたい。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	正社員就職件数	建設分野の就職件数	障害者のチーム支援による就職件数	60 歳以上の高齢者の就職件数	ホームレス自立支援事業における求職者の常用就職率
実績	3,416	5,289	769	94.7%	98.0%	9.7%	186	351	1,633	130	50	835	91.8
目標	3,380	5,390	700	90.0%	90.0%	8.6%	172	260	1,757	149	35	830	78.3
目標達成率	101%	98%	110%			113%	108%	135%	93%	87%	143%	101%	117%
（参考）過去3年度平均	3,900	6,223	706										

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大森　就職支援業務報告（平成 27 年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

地域における雇用課題に適切に対応するため、管内の自治体（大田区）及び事業主団体等の関係機関により構成する「大田区地域労働関係協議会」を運営し、次のような連携事業を推進した。

人手不足分野における対策として介護職就職面接会や保育園就職フェア、高齢者の就職支援としての区の集会所等を利用した地域別のパートタイム就職面接会、若者の就職支援として大田労働基準監督署との共催によるセミナー、生活保護・生活困窮者対策として区の生活福祉課内に設置した常設窓口の運営（おおた就労支援コーナー）など、大田区をはじめとする関係機関との共同事業を積極的に実施した。

特に人手不足が深刻な介護人材の確保については、大田区からも事業の継続・拡充を要望されているため、平成 28 年度においては事業者団体とも連携し、毎月定例で就職面接会を開催することとしている。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ア　利用者アンケートや職員からの提案・意見で、ポスターや求人票等が整理されず雑然と展示されており分かりにくいといった意見があったため、掲示場所毎に責任者を明確にして、メンテナンスの徹底を図った。

イ　庁舎の構造上、１Ｆの総合案内から２Ｆの雇用保険給付窓口への誘導が分かりにくく間違った窓口を訪れる求職者が多かったため、窓口案内掲示の改善、通路上への動線表示、繁忙期には２Ｆに職員を配置してコンシェルジュサービスを実施した。

ウ　一般職業相談窓口では、「＋２サービス※」を徹底して就職支援の強化を図った。

※＋２サービス：①求職者が応募希望の求人を持参しているかいないかにかかわらず職員の視点による適合求人を必ず提供すること
②求人者への紹介が決まった求職者に対しては、応募書類の準備状況を確認し、準備できていない場合には参考資料を提供するなどのアドバイスを行うこと。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

若年者（35 歳未満）の就職支援窓口においては、予約担当制による職業相談を実施しているところであるが、平成 28 年度以降においては、これを 35 歳以上にも拡充し、希望するすべての求職者に対して予約担当制による職業相談を開始することとしている。

（4）その他業務運営についての分析等

管轄の大田区は、日本の「ものづくり」の拠点として製造業が集積していることから、製造業（産業）の求人充足を所の重点項目とし、製造業の就職面接会や求人票に事業所画像情報を添付して情報提供するなどマッチングに取り組んだものの、業況の悪化傾向が強まるなど充足件数の目標 1,540 件に対し、1,492 件で未達成となった。今後は、製造技術の魅力発信、職場見学会、トライアル雇用制度の活用などにより求人充足に努めてまいりたい。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

雇用保険受給者に対しては、雇用保険給付窓口及び職業相談窓口の双方において早期再就職のメリットや再就職手当制度の周知を行うとともに、失業認定日における職業相談窓口への誘導を強化したことにより、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標 2,250 件に対し、2,555 件の実績（達成率 113.6%）を挙げることができた。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数（常用）	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	ハローワークの職業紹介により、正規雇用に結びついたフリーター等の件数	マザーズハローワーク事業による担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	60 歳以上の高齢者の就職件数	製造業求人の充足数
実績	6,891	6,838	2,555	94.0%	96.5%	15.0%	421	243	2,134	98.5%	21,083	1,523	1,492
目標	6,800	7,000	2,250	90.0%	90.0%	11.6%	314	220	2,098	87.6%	19,825	1,440	1,540
目標達成率	101%	98%	114%				134%	111%	102%	112%	106%	106%	97%
（参考）過去3年度平均	7,008	7,401	2,430										

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク足立　就職支援業務報告（平成 27 年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

・生活保護受給者等の就職支援

当所管内の荒川区、足立区は生活保護受給者数が多いため、生活保護受給者等就労自立支援促進事業に基づく雇用対策の推進を重点対策としており、平成 25 年度から両区役所内に一体的実施事業（生保型）施設を開設している。当該事業実施にあたっては自治体関係者との協議会の開催など日頃から情報の共有に努めていることから、密接な連携を図ることができており、平成 27 年度の足立所全体の事業実績は、支援対象者数 1,311 人（前年比 39.8%増加）、就職件数 835 人（前年比 31.9%増加）と前年値を大きく上回り、目標達成率は、137%となったところである。

・地方自治体との連携による面接会の就職

区の施設は鉄道の駅に直結するなど、利便性が高く集客に優れているため、自治体の協力により同施設において、面接会やセミナーを実施している。平成 27 年度は、定期的な「マンスリー面接会」を 12 回開催し、１回の平均応募者数は 38 人、うち就職者数は６人となった。開催にあたっては、近隣安定所や自治体の協力を得て、日程など広く周知を行っている。面接会の冒頭には企業の PR タイムを設定しており、「求人票だけではわからない会社のイメージがよくわかった」などの評価を得ている。

・専門施設における就職支援

平成 26 年９月にマザーズハローワーク日暮里及び日暮里わかものハローワークを開設し専門的な支援を行っている。労働力の減少が懸念される中、効果的な行政運営により「一億総活躍社会」の実現を目指すため、重点的な取組を行った。両施設においては、マンツーマンの担当制による、きめ細やかな個別の支援を中心に行っており、平成 27 年度の就職実績は、マザーズハローワーク日暮里で 598 件、わかものハローワークで 812 件となった。荒川区長にも機会あるごとに施設の PR（トップセールス）を実施いただいており、ハローワークの積極的な取組が期待されている。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

繁忙期には、待ち時間が長くなり、利用者の不安や不満が苦情につながることから、分かりやすい手続き案内を実施することとした。特に、雇用保険受給資格決定のため来所された者には、当日の手続きの流れや求職申込書の書き方などを印刷した専用バインダーを活用することで、職業相談を開始する前に求職申込書を記入することが容易になり、スムーズに職業相談を開始することが可能となった。書類紛失のリスクも減少し、手続きの進捗状況も把握できるため、待ち時間などに対する苦情が大幅に減少した。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者が減少傾向にあるものの、依然として一定数の求職者が存在していることから、就職件数の向上のため、より積極的に窓口での職業相談と職業紹介に取り組み、求人検索機閲覧のみの利用者への窓口での職業相談勧奨や個別担当者制の案内など、能動的なサービスを徹底する。また、求人充足対策として、求人受理時における適正な求人内容の確認はもとより、分かりやすい、応募しやすい求人づくりのため、求人コンサルティングを徹底し、管内求人の充足と未充足求人への対応を強化する。

（4）その他業務運営についての分析等

平成 27 年度は、充足件数の目標 8,310 件のところ、実績は 8,200 件とわずかではあるが目標を下回った。また、介護・看護・保育分野の就

職件数の実績は 1,012 件と、目標の 1,100 件を達成できなかった。今後は、ハートフルワークコーナーと求人部門との連携をより強化し、職種を特化した充足会議を開催するなどして、未充足求人対策を行っていくこととする。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

地方自治体との連携

管轄である荒川区、足立区とも一体的実施事業（生保型）を区役所庁舎内で運営している。両区とも保護率が高く、生活保護受給者の就労による自立支援は共通の目標である。区の就労支援員、ケースワーカーとの情報交換など、円滑な運営が図られている。

その他、荒川区内では、地下鉄駅に直結した区所有の建物内に地域密着型のふるさとハローワーク「JOB コーナー町屋」を運営しており、区内在住の利用者の利便性を高めている。

足立区内では路線バスが主要な交通手段になっており、足立区役所内に、ハローワーク足立の庁舎外窓口として「あだちワークセンター」を開設したことで、足立区西部、北部の居住者の利用が増加している。

これら事業については、職業安定行政との密な連携のもとに行っているものである。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	正社員求人数	正社員就職件数	介護・看護・保育分野の就職件数	地方自治体等との連携による就職面接会の実施による就職件数
実績	9,358	8,200	3,326	95.7%	94.3%	12.8%	835	486	624	23,507	4,715	1,012	75
目標	9,350	8,310	3,100	90.0%	90.0%	10.4%	611	479	560	21,896	4,626	1,100	65
目標達成率	100%	99%	107%			123%	137%	101%	111%	107%	102%	92%	115%
（参考）過去3年度平均	9,228	8,458	3,223										

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク墨田　就職支援業務報告（平成 27 年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

≪求職者と企業のマッチング・出会いの場の提供≫

求人票だけでは伝わらない企業の魅力を「写真」と「メッセージ」で一枚にまとめ、「アピールシート」として情報提供するとともに、求人者・求職者が直接会うことができる「ミニ面接会」を積極的に開催した。

また、都内わかものハローワークと連携し、「新ものづくり事業所の会社説明会・見学会」を積極的に実施した。製造業の現場や会社の雰囲気を実際に見てもらうことにより、仕事内容の理解を深め、若年者の応募採用へつなげた。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

≪合同就職面接会の実施方法について≫

区と共催で実施する合同面接会は年３回実施しているが、予約制で実施していたため、早々に予約枠の上限に達してしまい、それ以降に参加を希望する者がいたとしても参加できない状況となることがあった。このため、面接会を会社説明会・面接会の２部制として実施することにより、従来規模以上に求職者の参加が可能となった。

≪就職支援ナビゲーターの青戸ワークプラザにおける出張相談≫

葛飾区在住の方へのサービス向上のため、週１回就職支援ナビゲーターが青戸ワークプラザに出張し、応募書類の添削を中心に予約制による個別相談を行い、多くの求職者の方に利用された。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

引き続き、「新ものづくり会社説明会・見学会」を実施し、地域の中小企業と若年者とのマッチングを図るために、管内の事業所情報の収集に努めてまいりたい。

葛飾区在住の方へのサービス向上のため、当所の付属施設である青戸ワークプラザにおける就職支援ナビゲーターによる予約制による個別相談を引き続き実施するとともに、新たに職業訓練に係る出張相談も実施することとしている。

従来から実施していた「再就職支援セミナー」のアンケートで要望の強かった 60 歳以上を対象とした「シニアセミナー」を平成 27 年８月から開始し好評を博しているため、平成 28 年度も引き続き実施することとしている。

（4）その他業務運営についての分析等

区や関係団体、駅等へのポスターの掲出依頼を行い、新規求職者の確保に努めたところであるが、新規求職者が前年度比 2.3%減となり就職件数の確保が難しい状況であった。今後も新規求職者の減少を抑制し、利用者数(リピーター)を増加させるためのサービス改善に取り組むこととする。

求人数は対前年 6.3%増加しているものの、業種別の求人状況は、「飲食・宿泊業」、「医療・福祉業」、「サービス業」の順に多く、これらで平成 27 年度の求人数の 62%を占めている。これらの人手不足業界への対応を行うとともに、求職者の方の様々なニーズに応えるべく事業所数・求

人件数を意識した求人の確保に取り組むこととする。
　正社員キャンペーンの取組等により、平成 27 年度の正社員求人数は対前年比 15.6%増、求人数全体の 47.4%となった。引き続き、地元自治体、管内の事業主団体等との連携により正社員求人のメリットの周知を行い、正社員求人の確保に努めることとする。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

　当所管轄は大企業が少なく、30 人未満規模の事業所が 95.6%を占め、また製造業の占める割合が 20%を超えている。これらの製造業の事業所における従業員の高齢化は、事業の存続にもかかわる地域の深刻な課題となっていることから、若年者にものづくりの魅力を発信することで、人材確保に努めてきた。
　人手不足業界である介護（原則毎週水曜日）・保育（原則火曜日）の会社説明会を、事業所にハローワークへ来所いただき、ハローワークの窓口で開催した。一定の関心は持っているものの、応募等を躊躇している求職者に対して業界の理解を促し、応募・採用へつなげた。
　また、人手不足業界であるバス運転士のツアー面接会を日暮里わかものハローワークと連携して２回開催した。求職者は広く首都圏全体から応募があった。求人内容の見直しと充実により、見学会以降の求人募集でも応募・採用へつなげた。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	正社員求人数	就職件数（全数）	東京労働局マッチング強化事業（対象求職者の就職件数）	障害者のチーム支援による就職件数	60 歳以上の高齢者の就職件数
実績	10,025	7,183	2,562	93.6%	94.1%	12.8%	467	647	22,615	10,901	531	225	2,165
目標	10,300	7,010	2,500	90.0%	90.0%	10.3%	448	570	20,052	11,250	432	190	2,080
目標達成率	97%	102%	102%	104%	105%	124%	104%	114%	113%	97%	123%	118%	104%
（参考）過去3年度平均	10,667	7,635	2,536										

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク木場　就職支援業務報告（平成 27 年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、生活保護受給者等の就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、自治体の就労支援員やケースワーカーとの連携を図り、江東区では、支援対象者 429 名に対し、就職件数 330 件、就職率 76.9%という実績となった。また、江戸川区では、支援対象者 619 名に対し、就職件数 451 件、就職率 72.9%という実績となった。さらに、平成 28 年３月には「ワークサポートこいわ」を新たに開設して、生活保護受給者等の就労支援を行っている。この取組については、区の関係者や利用者から、的確な職業相談・職業紹介ができ、早期の就職が実現しているとの評価を得ている。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査による改善要望を受け、求職票等の記載について、着座して記入する記載台がなく、利用者から落ち着いて丁寧に記載できるような記載台の設置を強く要望されていたことから、受付横に着座して記入できる２名分の記載台を設置した。また、利用者から広く意見要望を受け、今後のサービス向上の推進を図るため、１～３階の分かりやすい場所に「ご意見箱」を設置し、毎日確認することとしている。

さらに、業務改善を推進するため「提案箱」を常設し、職員・相談員から業務改善に向けた意見を募集している。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

雇用保険受給者の早期再就職支援については、初回の失業認定日に雇用保険受給者全員に対して職業相談を実施するなど以前から取り組んでいるところであるが、雇用保険受給説明会や職業講習会の会場が本庁舎とは別の会場で実施していることから、雇用保険受給説明会等終了後ほとんどの雇用保険受給者の誘導に失敗していた。このため、初回認定日や給付制限中の認定応当日の職業相談はもとより、雇用保険受給説明会等の開催会場において、求人情報の提供や就職ガイダンス等の支援メニューの充実を図り、本庁舎への積極的な誘導を図ることとしている。

（4）その他業務運営についての分析等

正社員就職件数の目標達成率 101.3%であったが、正社員求人数の目標達成率は 91.1%と目標に及ばなかったことから、正社員化促進のため、事業主団体に対する求人勧奨や正社員対象の就職面接会の開催等により、求職者のニーズにマッチした正社員求人の確保に積極的に取り組むこととする。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により、正規雇用に結びついたﾌﾘｰﾀｰ等の件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	開拓求人の充足数	パートタイム面接会の就職件数
実績	7,766	9,863	4,036	94.8%	100.0%	15.0%	781	411	781	1,979	94.6%	2,813	107
目標	8,000	10,000	3,900	90.0%	90.0%	11.7%	627	405	770	2,135	87.6%	1,527	80
目標達成率	97%	99%	103%			128%	125%	101%	101%	93%	108%	184%	134%
（参考）過去3年度平均	8,302	10,511	3,998										

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク八王子　就職支援業務報告（平成 27 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、求職者が減少傾向にある中、いかにマッチング精度を高めるかを最重要課題と考え、各種セミナーの実施、八王子市・日野市と連携した就職面接会の開催、ミニ面接会・管理選考・ツアー型面接会等に積極的に取り組んだ。特に人手不足分野の「福祉の仕事」においては、ツアー型面接会を年間 25 回実施し、採用者は 40 名となった。

また、平成 27 年度から新たに、若年面接会開催の１週間前に事業所の代表者・採用担当者による事前会社説明会と面接会事前対策セミナーを実施しました。その結果、就職件数のアップに加え、事業所・求職者双方から「有意義な面接ができてよかった」との評価を得た。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査結果を全職員・相談員のミーティングにおいて伝達するとともに、利用者満足度向上のための提案を募った。その結果、主要駅のインフォメーションスタンドを使いやすいスタンドに換えたことにより、求人一覧表の配布とともに、イベント情報等を広く効果的に発信することが可能となった。また、来所者の窓口への円滑な誘導のため、音声付順番表示機・大型ディスプレイを導入するなど、利用者サービスの向上に努めた。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

今後も求職者の減少傾向は継続するものと予想されるが、事業所部門担当者と職業相談部門担当者の連携をさらに強化し、受理した求人を積極的に求職者に提案するなど早期充足に努めるとともに、求職者が希望する求人の開拓に取り組むこととする。

また、全職員・相談員のサービス向上に係る意識を研修などにより醸成し、利用者の声や職員等の提案に速やかに対応していくこととする。

（４）その他業務運営についての分析等

当所の付属施設である「八王子しごと情報館」において、取扱数が大幅に減少したことから、求職者の確保・開拓のため市の関連施設等へのリーフレットの配布や、八王子駅への横断幕の設置により施設の周知を図るなどした。また、業務部長による週１回の相談員ミーティングと研修を行い、提案型職業紹介を徹底するとともに、管理選考などの実施にも取り組んだ。

今後も市と連携し、求職者の確保・開拓を推進するとともに、各種施策を積極的に実施する。

2　総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により、正規雇用に結びついたフリーター等の件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	介護・看護・保育分野の就職件数	60歳以上の高齢者の就職件数	障害者のチーム支援による就職件数
実績	7,002	5,653	2,460	99.1%	100.0%	13.7%	2,388	2,365	88.8%	11,133	1,160	1,336	188
目標	7,100	5,620	2,200	90.0%	90.0%	11.4%	2,350	2,435	87.6%	9,772	1,200	1,250	180
目標達成率	99%	101%	112%			120%	102%	97%	101%	114%	97%	107%	104%
（参考）過去3年度平均	7,214	5,679	2,261										

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク三鷹　就職支援業務報告（平成 27 年度）

1　所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

求人・求職のマッチングの更なる強化を最重点取組と考え、特に求人条件に希望する労働条件が合致する求職者を当所で選定し、積極的に求人とマッチングさせることにより就職件数を上げる取組を行った。

また、求職者に対して、ハローワーク職員から求人を提案して紹介することにも重点を置き、3,840 件の目標に対して 7,047 件の紹介を実施した。

さらに、地方自治体との連携のもとに、生活支援が必要な方の自立支援に取組み、多くの方の就職を実現し、各自治体から更なる連携支援を期待されている。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートで、「求人票に記載された情報が少ない」等の意見があったため、求人票の「仕事内容」欄に極力詳細な情報を記載し、利用者にわかりやすい求人票の作成に努めた。

求人票以上の情報については、職員間で共有できるよう仕組みを整えつつ、必要に応じて職業相談窓口で提供するなど、極力多くの情報を求職者に提供できる体制を整備した。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

より利用しやすい窓口にするために、職員・相談員に対して、更なる接遇の向上や質の高い職業相談を行えるように、研修やチェック体制を整備する。

また、広報面でも見やすくわかりやすい展示物の掲示方法やホームページの刷新を検討する。

（4）その他業務運営についての分析等

目標数を達成できなかった「正社員求人数」、「介護・看護・保育分野の就職件数」については、平成 28 年度は正社員求人を中心とした求人開拓、福祉分野の面接会（会社説明会、見学会）等を計画的に実施する。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

（1）ふるさとハローワークの更なる利用促進

当所管轄地域は南北に展開していることから、西東京市、東久留米市、清瀬市の３市にある「ふるさとハローワーク」における業績は大きなウエイトを占めている。各地域の自治体と連携を深め、周知・利用促進を図る。

また、各ふるさとハローワークには専門相談員を配置していることから、生活支援が必要な方の自立支援の取組も併せて実施する。

（2）人手不足分野における人材確保

人手不足分野（介護・看護・保育）については、職場環境の理解を促したうえで就職に結びつけられるツアー型面接会や会社説明会、見学会等を効果的に実施して、人材確保に努める。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数（常用）	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	正社員求人数	介護･看護･保育分野の就職件数	東京労働局マッチング強化事業（対象求職者の就職件数）	障害者のチーム支援の就職件数	就職件数（全数）
実績	6,277	4,422	2,359	91.2%	99.0%	13.2%	362	309	25,003	844	578	123	6,946
目標	6,200	3,960	2,200	90.0%	90.0%	10.7%	270	300	25,100	850	400	120	6,940
目標達成率	101%	112%	107.%			123%	134%	103%	100%	99%	145%	103%	100%
（参考）過去3年度平均	6,514	3,991	2,245										

「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク府中　就職支援業務報告（平成 27 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では雇用保険受給者の早期再就職の目標達成を最重点課題と捉え、職業講習会及び雇用保険受給説明会を活用し、早期再就職のメリットについて説明を行うとともに、雇用保険給付課、職業相談部門との連携を図り「受給資格者アンケート」等を活用し、積極的に職業相談窓口への誘導に努めた。これにより雇用保険受給者の早期再就職件数は、目標の 2,490 件に対し 2,697 件（達成率 108%）となり、目標を達成することができた。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートで職業訓練相談コーナーの場所が分かりづらいとの改善要望を受け、案内表示の移動及び新たに方向サインを床面に設けるなどの改善を行った。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者が減少傾向で推移していることから、管内各市及び事業主団体の広報誌を活用した新規求職者の確保及び雇用保険受給者を積極的に職業相談窓口に誘導し、早期再就職に向けたサービスの改善に努めていくこととする。

管内各市及び事業主団体との共催により就職面接会を開催しているが、求人者・求職者のニーズを的確に把握し、充足（就職）に向けた工夫を図りつつ開催する。

（４）その他業務運営についての分析等

正社員就職の取組として、特に、若年者向けの正社員求人の量的確保に積極的に取り組んでおり、正社員求人件数は目標 15,105 件に対し 21,123 件と 140%の達成率となった。平成 28 年度も引き続き、求職者ニーズにマッチした正社員求人の確保の取組を強化していくこととする。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	正社員求人数	開拓求人の充足数	障害者のチーム支援の就職件数	東京労働局マッチング強化事業（対象求職者の就職件数）
実績	7,002	5,133	2,697	97.8%	97.6%	14.6%	359	378	94.8	21,123	1,841	210	689
目標	7,100	5,210	2,490	90.0%	90.0%	11.7%	329	350	87.6	15,105	1,500	145	430
目標達成率	99%	99%	108%	109%	108%	125%	109%	109%	108%	140%	123%	145%	160%
（参考）過去3年度平均	7,319	5,390	2,496										

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク王子　就職支援業務報告（平成 27 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①当所の新規求職者は平成 25 年度に 15,203 人（前年度比－11.9%）、平成 26 年度には 13,837 人（同－9.0%）と２年度連続して１割程度の減少となっており、新規求職者の著しい減少（現在も減少傾向が継続）の業務全体への影響が懸念されたことから、事業の推進に当たって求職者の確保を最優先に自治体及び隣接所との協力の下、求職者の確保策に取り組んだ。（庁有車への宣伝ステッカーの作成貼付、隣接区も含めての図書館・地域センターなどへの利用促進リーフレット等の配架、区役所との共催イベント等におけるハローワークの周知、更には、区役所のイベントにおけるハローワークのＰＲ、区役所掲示板の活用許可など）また、人の移動があり求職者の確保に繋がる川口市が隣接の位置関係にあることから、ハローワーク川口との連携による福祉系の面接会の合同開催など、今までになかった連携事業にも取り組んだ。

②定期的に相談が見込める雇用保険受給者についても、平成 25 年度は 4,415 人（前年度比－11.7%）、平成 26 年度は 3,946 人（同－10.6%）と、一般求職者以上の減少が見られたことから、雇用保険受給者の就職支援を強化することによって就職件数を確保することとした。具体的に、早期再就職について所内職員で構成する再就職支援委員会による業務の見直し、改善を図り、職業講習会の見直し、失業認定時間帯の再設定、窓口への誘導方法の見直し、アンケートの改善などに取り組んだことにより、平成 27 年度の雇用保険受給者早期再就職件数は目標 1,200 件のところ 1,287 件（目標達成率 107%）と目標を達成することができた。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

前年度に実施したアンケートによると、自由記載欄に接遇に関する意見が複数あったこと、所内に設置している「ご意見箱」に、接遇に関する投書が散見されたことなどから、今まで以上に接客・接遇に関する意識を高める必要があるとして、接遇研修等を強化し、利用者との良好な関係を維持しつつ接遇の向上を目指すこととした。接遇研修を年３回に増やし接遇チェックを毎月実施するとともに、チェックが形骸化しないよう管理職による随時指導を行うこととした。これらの対策の効果もあり、平成 27 年度の利用者満足度は求人者 95.7%、求職者 95.1%と、接遇に関する意見はほとんど見られず、意見・要望としてはイベント情報の提供方法やホームページの見やすさなどであったことから、接遇に関しては一定の改善がされたものと思料する。なお、常に満足いただけるサービスを提供するため「基本対応」の徹底は必要であり、今後も接遇の向上を図る取組を維持していくこととする。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

今後も求職者の減少傾向は継続するものと考えられるため、平成 27 年度の利用者満足度調査の結果も踏まえ、分かりやすく、かつ、魅力を感じさせるＰＲの実施など、利用者の要望に応えるハローワークを前面に打ち出し、求職者の確保に繋がるよう積極的に取り組んでいくこととする。

また、人手不足業種を中心に、充足サービスに係る取組として「会社を知ってもらう、内容を正しく理解してもらう」ことを目的に「事業所見学会」「企業説明会」を積極的に実施する。

（４）その他業務運営についての分析等

雇用情勢が好転し求人が増加したことにより、求職者の窓口利用が慎重化傾向にあることも紹介件数が大きく減少している要因の一つとなっている。とりわけ、若年者層の新規求職者は平成 25 年度以来毎年度－12%台の減少幅で推移していることから、若年者の窓口への誘引を図り早期再就職への意識付けに重点を置くこととする。具体的には、就職支援セミナー受講者を受講のみに留まらせない、また、職業相談窓口を利

用するメリットを求職者に意識させ、職業相談のの増加から紹介件数の増加へと繋げていくこととする。
一方、管内である北区は高年齢者の割合が 23 区で一番高いこともあり、高年齢求職者に対して、ライフプランを含めた職業選択、求職活動の方法など、総合的な就職支援を実施するとともに、高年齢対象求人の積極的確保などをハローワーク王子の特徴的な支援として、重点的に取り組むこととする。特に、高年齢者は地元密着の希望が高く、ハローワークとしても地域（北区）との連携を図りつつ、これらの事業を推進する。

2　総合評価（※）

標準的な成果

※　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

地域雇用問題連絡会議の開催等、地域との連携について、当所の管轄区域は北区１区であり業務上の連携は図りやすいことから、各部門が必要に応じて情報を共有しながら事業を進めている。
平成 27 年度には北区内の生活保護受給者等の就労について、自治体の実施する施策と国の施策を一体的に実施することとし、平成 28 年２月に北区役所内に「北区就労支援コーナー」として一体的実施事業の窓口を設置して事業を開始した。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	障害者の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	ハローワークの職業紹介により、正規雇用に結び付いたフリーター等の件数	正社員就職件数	障害者のチーム支援による就職件数
実績	3,636	3,003	1,287	95.7%	95.1%	14.3%	212	124	804	1,732	71
目標	3,800	3,050	1,200	90.0%	90.0%	11.1%	190	150	899	1,794	56
目標達成率	96%	98%	107%			129%	112%	83%	89%	97%	127%
(参考)過去3年度平均	4,265	3,225	1,265								

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク町田　就職支援業務報告（平成 27 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

生活保護受給者や生活困窮者への自立を支援することは安定行政として取り組むべき重要課題の一つであり、これについて自治体との連携は必須であることから、当所では、平成 27 年１月 19 日に、管轄自治体である町田市との間で「町田市と東京労働局及び町田公共職業安定所が生活保護受給者等に対して就労支援を一体的に実施するための協定」を締結した。これに基づき、平成 27 年２月に町田市役所の地域福祉部の相談窓口の一角に「就労サポートまちだ」を開設し、生活保護受給者、児童扶養手当受給者、生活困窮者等に対して、ハローワーク町田の就職支援ナビゲーターによる就職支援を行ってきた。これに当たっては、市の地域福祉部の支援員やケースワーカー等と当所が、支援対象者の情報交換と共有化を常に行うことで、本人へのきめ細かな相談を行うことができた。その結果、平成 27 年度の支援対象者の確保は、目標数 220 名に対し達成率 116.4%の 256 名、就職件数は 121 名の目標に対し 146.3%の 177 名となった。この事業を通じて、支援対象者への就労に関する意欲の喚起や、タイムリーな就職支援など、非常に効果的な支援が行われているという評価を自治体からも得ている。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワーク町田において「求人検索の方法やサービス内容についてわかりづらい」等の意見があったことから、当所の利用サービスガイドを改定した他、求人検索パソコンの検索画面の改善を行った。また、子育てをしながら仕事を希望する求職者の方へ、更なるサービスの提供が可能となるよう、「マザーズコーナー」等のレイアウトの変更を行った。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

現在の職業相談窓口の編成においては、利用者の利用状況に偏りが見られ、混雑時の窓口毎の待ち時間の差が大きくなるケースがみられることから、業務量の平準化を図ることにより、待ち時間を短縮させる取組を実施する。また、庁舎内玄関ホールでの各種の案内リーフレットやポスター等、各種の情報についても、より分かりやすい表示となるよう改善を図る。

（４）その他業務運営についての分析等

東京局の有効求人倍率が、２倍以上（季節調整値・平成 28 年４月、５月）と高水準で推移する中、求職型安定所の当所においては、0.6 倍台（原数値）となっている。中でも、当所では地元での就職を希望する高年齢者（60 歳以上）の求職者の割合が比較的高い（平成 27 年度有効求職者、東京局 15.3%、町田所 17.1%）ことから、今後これらの者に対する就職支援を強化する。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	生活保護受給者等の就職件数	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	マザーズハローワーク事業における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	60 歳以上の高齢者の就職件数	障害者のチーム支援の就職件数
実績	4,492	2,708	1,416	95.0%	98.1%	13.2%	328	355	104.2%	822	106
目標	4,600	2,630	1,300	90.0%	90.0%	10.4%	237	310	87.6%	890	90
目標達成率	98%	103%	109%			127%	138%	115%	119%	92%	118%
（参考）過去3年度平均	4,797	2,932	1,319								

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク青梅　就職支援業務報告（平成 27 年度）

１　所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、来所者が減少傾向で推移する中「雇用保険受給者の早期再就職」の目標達成を最重要と考え、職業講習会、失業認定時の職業相談、個別支援などの取組を進めた。個別支援については、就職意向アンケートにより担当制職業相談の希望があると記載した者に対し、当所から能動的に働きかけることにより担当制職業相談の対象者とし、計画的な支援を実施することによって 166 人を就職に結びつけることができた。また、東京西多摩地域の職・住近接ニーズが高い管内特徴から、開拓求人の充足を重点的に進めることとし、積極的な面接会開催（69 回）、提案型職業紹介の実施等、早期マッチングに取り組んだ結果、175%の目標達成率となった。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、分庁舎の案内表示が不十分、展示、掲示がわかりにくいとの意見が多数あったことから、分庁舎、特に求人者フロアについて、他部門の職員の意見も取り入れつつ、見やすい案内表示とするための展示、掲示への改善を行った。また、雇用保険課給付係を利用者にわかりやすいレイアウトに変更し、求職者サービスの向上を図った。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

当所管内では、介護施設が増加しており人手不足分野である介護・福祉分野の充足対策が課題となっている。平成 27 年度はツアー面接会、ミニ面接会の開催を提案し 22 回実施して参加者 38 人のうち 9 人を就職に結びつけた。また、潜在的求職者の確保・開拓の観点から土曜の開催も試みた。平成 28 年度は平成 27 年度以上の開催を目標に、多数の参加者を募ることを目指す。

（４）その他業務運営についての分析等

当所においては、管内自治体と連携し、自治体施設を会場として青梅線沿線就職面接会、出張相談、就職活動セミナーの共同事業を実施しているところであるが、平成 28 年度においては、新たに２つの共同事業（青梅市の「女性の再就職・若年者アシスト事業」、あきる野市の「創業・就労支援事業」）に取り組むこととしている。

2　総合評価（※）

良好な成果

※　　業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3　特記事項

管内自治体の「ひとり親支援講演会及び相談会」において、当所が講演した際のアンケート結果を分析したところ、子育てに専念している間に雇用環境が大きく変化しており、ひとり親という環境からも、就職活動を進めることに不安を感じている者が多いことがわかった。このため、管内各市子ども家庭部等に参加勧奨を依頼し、ひとり親の母親を中心にセミナーの定期的な開催に取り組んだ。

セミナー内容は、就職活動を進める上で必要な知識を付与するため、環境理解、自己分析、動機の意識付け、労働市場研究、就職活動知識をテーマにグループディスカッションを交えて午前半日を２日間連続で開講。特に、子育てをしながら働く女性を想定したグループディスカッションや面接対策としての模擬面接等、参加型の項目を多く採用した。

開始から２年間に８回開催し、合計 65 名の方が参加したが、そのうち 32 名（49.2%）がひとり親の母親であった。

また、セミナー後の個別担当制には、41 名（63.1%）が同制度の利用を希望し、ひとり親の母親にあっては 28 名（87.5%）が希望した。

担当制職業相談への誘導率も高く、その結果として当所からの紹介で 17 名（26.2%）、ひとり親の母親に限ると 11 名（34.4%）が就職に結びついた。

4　マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数（受理地）	雇用保険受給者の早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	紹介成功率（常用）	生活保護受給者等の就職件数	障害者の就職件数	障害者のチーム支援による就職件数	就職件数（全数）	開拓求人の充足数		
実績	4,589	3,719	1,419	99.0%	100.0%	20.9%	181	225	140	5,003	2,305		
目標	4,500	3,620	1,250	90.0%	90.0%	16.7%	154	202	140	5,000	1,320		
目標達成率	102%	103%	114%			125%	118%	111%	100%	100%	175%		
(参考)過去3年度平均	4,769	3,863	1,307										

※　「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率